

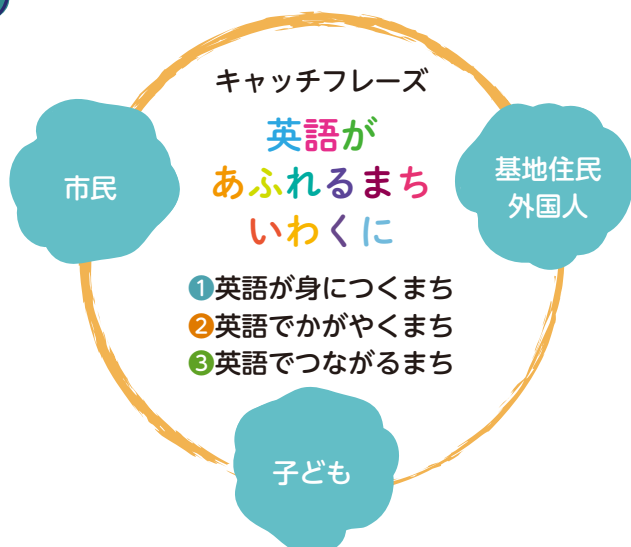
英語があふれるまちいわくに

～英語を身に付け、英語で輝き、英語でつながろう～

岩国市では基地があるまちとしての特性を生かし、英語の学びと学び直し、国際交流の機会が充実した魅力的な「英語交流のまち」を実現させるため「英語交流のまち Iwakuni 創生プロジェクト基本方針」を策定しています。

今回は、その基本方針と市の取り組み、市民の声などを紹介します。皆さんも岩国だからこそ体験できる生の英語に触れてみませんか？

☎英語教育推進室 ☎(29)5201



英語交流のまち

Iwakuniとは？

岩国市は、人口の10人に1人がアメリカ人という英語のまちです。この地域特性を生かし、英語交流に優れた、生きた英語が使える・訪れとなる国際都市として、英語教育と英語を核としたまちづくりを行っています。

英語交流のまち Iwakuniでは、3つの基本方針の下、温かな交流による「ひと」の相互理解と、移住定住や商業・観光の推進による「まち」の活性化を目指します。

① 英語が身につくまち

●市民の誰もが、外国人との自然な交流の中で英語を身に付けることができるまちを目指します。

●将来を担う若い世代が、これからの世界を堂々と、伸び伸びと切り開いていくためのツールとして英語を使いこなせるよう支援していきます。

② 英語でかがやくまち

●市民の誰もが外国人と気軽にコミュニケーションを図ることができるまちを目指します。

●英語に関するさまざまな取り組みを市内外に広くアピールすることで、岩国市のイメージの向上を図ります。

③ 英語でつながるまち

●外国人と日本人が趣味などを通じて自然に交流し、英語を生かして働く機会を創出できるような環境づくりに取り組みます。

●基地住民に岩国のことを知ってもらい、お互いに住みやすい多文化交流と共生のまちづくりを目指します。

令和4年春、新たな英語交流の拠点が誕生します！



市では、英語交流のまちを実現するため、その交流拠点となる（仮称）英語交流センターをJR岩国駅東口駅前広場に整備予定です。

（仮称）英語交流

センターとは？

「英語」をキーワードとした、さまざまな交流事業を行うことができ、「コミュニティスペース」「セミナー」「賑わい創出空間」の4つの機能を持った、英語の学びや学び直し、国際交流の拠点となる施設です。

岩国市の取り組み

市では、全ての小中学校への外国語指導助手・国際交流支援員の派遣や配置、基地内学校との交流など、子供たちが英語に触れる機会を提供しています。またイングリッシュキャンプや国際交流カフェ、料理教室など地域の誰もが参加できるイベントも開催しています。



基地内学校との交流
(2018年)

日米交流ミニ運動会
(2019年)

イングリッシュキャンプ
(2021年)

国際交流カフェ
(2021年)

英語があふれるCooking Class
(2021年)

英語交流de生け花
(2021年)

イベント情報

基地内交流ツアー in IWAKUNI

対象 市内に在住する小・中学生の親子

日時 9月23日(祝) 9時～13時

集合・解散場所 市役所正面玄関

定員 10組20人

※応募者多数の場合は抽選

内容 基地内施設の見学や交流会など(昼食代などは各自負担)

持参品 運転免許証などの身分証明書

募集期間 9月6日(月)まで

市ホームページから

英語教育推進室

☎(29)5201



イベント参加者の声

Interview

岩国市は国際的なまちだと思います。せっかく身近に異文化を学べる機会があるので、自分でもそれを活用しようと市の行事には積極的に参加しています。実は私自身、高校3年生までは英語が苦手でしたが、今ではアメリカ人の友人もでき、市内で国際交流を楽しんでいます。



矢田部 徳華さん

Interview

約2年前から岩国市に住んでいます。普段の生活の中で日本人と交流する機会はあまりないので、岩国市がさまざまな交流の機会を作ってくれることはありがたいです。日本人とアメリカ人それぞれがこのような交流の機会を活用しながら、日米の絆を深めていけたらいいと思います。



ロワン・リッチャーさん